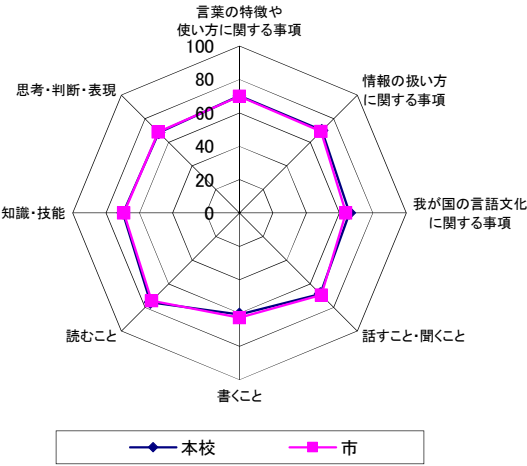


宇都宮市立豊郷南小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                  | 本年度  |      |      |
|-----|------------------|------|------|------|
|     |                  | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 言葉の特徴や使い方にに関する事項 | 70.1 | 69.9 | 72.3 |
|     | 情報の扱い方にに関する事項    | 69.9 | 69.2 | 73.0 |
|     | 我が国の言語文化に関する事項   | 65.9 | 63.8 | 66.0 |
|     | 話すこと・聞くこと        | 68.6 | 69.5 | 71.5 |
|     | 書くこと             | 60.8 | 62.8 | 67.1 |
|     | 読むこと             | 75.6 | 74.4 | 73.7 |
| 観点別 | 知識・技能            | 69.8 | 69.4 | 71.9 |
|     | 思考・判断・表現         | 68.3 | 68.8 | 70.6 |
|     |                  |      |      |      |
|     |                  |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

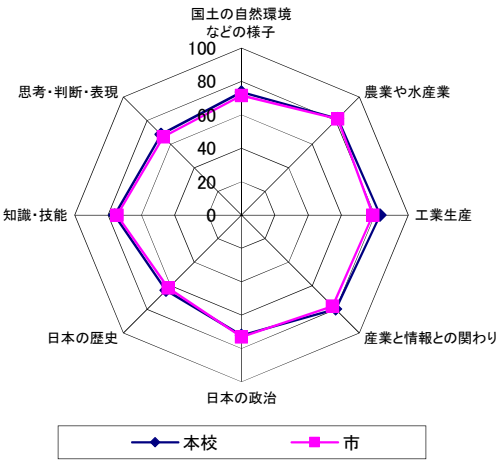
| 領域               | 本年度の状況                                                                                                                                                                                   | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                   |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 言葉の特徴や使い方にに関する事項 | ・領域の正答率は、70.1%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○「第6学年に配当されている漢字を正しく読んでいる」設問では3問中2問の正答率が90%を上回っており、良好な状況が見られる。<br>●「第5学年に配当されている漢字を正しく書いている」設問では、3問中2問の正答率が50%を下回っており、漢字を正しく書くことに課題が見られる。               | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・音読をしたり、読み仮名を書きながら漢字練習をしたりしながら、今後も正しく漢字が読めるように指導していく。<br>・漢字を覚える時には、様々な読み方や熟語とともに覚え、同音異義語に気を付けさせたり、該当する漢字を使った文章を考えさせたりして、適切に使うことができるように指導していく。 |
| 情報の扱い方にに関する事項    | ・領域の正答率は、69.9%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○「情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している」設問では、文章から必要な言葉を見つけ出し、短くまとめることができ、良好な状況が見られる。                                                                            | ・国語以外の教科においても、資料から分かることを書き出したりまとめたりする活動を今後も取り入れて指導していく。                                                                                                                    |
| 我が国の言語文化に関する事項   | ・領域の正答率は、65.9%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○「語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している」設問では、普段使っている言葉を和語、漢語、外来語に分類することができ、良好な状況が見られる。                                                                        | ・文章や生活の中で使われている語句の由来に関心がもてるように、辞書で意味や起源などを調べる活動を取り入れるなどして、興味が持続できるような機会を作るようにする。                                                                                           |
| 話すこと・聞くこと        | ・領域の正答率は、68.6%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○「話の内容を捉えている」設問では、相手が伝えたいことを理解して聞くことができ、良好な状況が見られる。<br>●「自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている」設問では、市の平均を8.1ポイント下回っており、目的意識をもって聞いたり、捉えた内容を自分の言葉で表現したりすることに課題が見られる。 | ・相手の話を聞くことはよくできているので、今後も最後まで話を聞く態度を育てていく。<br>・国語だけでなく、様々な教科で話し合い活動を充実させるようにし、相手の話を聞くだけでなく、聞いた内容に対して自分がどのような考えをもっているかを伝えられるようにし、表現力を向上させていく。                                |
| 書くこと             | ・領域の正答率は、60.8%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○「段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている」設問では、提示された条件に合わせて、2つの段落に分けて自分の考えを書くことができ、良好な状況が見られる。<br>●「指定された長さで文章を書く」設問では、市の平均を9.1ポイント下回っており、文章力に課題が見られる。              | ・条件に合わせて文章を書くことはできるので、意見文などの文章を読む機会を増やしたり、文章を詳しく書くために必要なことを確認したりして、文章表現を豊かにする素地を養うようにする。<br>・自分の考えを書かせる時間を積極的に取り入れたり、話し合い活動の中に書く時間を設けたりするなど工夫し、書く力を向上させていく。                |
| 読むこと             | ・領域の正答率は、75.6%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○「登場人物の心情について、描写を基に捉えている」設問では、登場人物の発言から心情を考えることができ、良好な状況が見られる。<br>●説明文に関して「文章全体の構成を捉えている」設問では、市の平均と同程度であるが、文章を内容ごとにくいつかのまとまりに分けることに課題が見られる。             | ・登場人物の様子や言葉から心情を考えることができているので、今後も、文章を基により深く読み取る指導を継続していく。<br>・接続語について確認したり、段落の最初の言葉に注目したりしながら、段落の関係や文章全体の構成を捉える力を向上させていく。                                                  |

宇都宮市立豊郷南小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |              | 本年度  |      |      |
|-----|--------------|------|------|------|
|     |              | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 国土の自然環境などの様子 | 73.7 | 71.6 | 67.5 |
|     | 農業や水産業       | 81.6 | 81.5 | 82.1 |
|     | 工業生産         | 83.1 | 78.7 | 70.8 |
|     | 産業と情報との関わり   | 79.8 | 77.2 | 68.2 |
|     | 日本の政治        | 72.2 | 73.1 | 77.9 |
|     | 日本の歴史        | 63.9 | 62.0 | 65.8 |
| 観点別 | 知識・技能        | 76.0 | 74.6 | 74.5 |
|     | 思考・判断・表現     | 68.2 | 66.2 | 65.2 |
|     |              |      |      |      |
|     |              |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

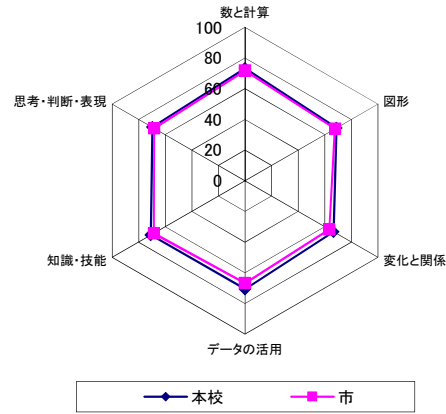
| 領域           | 本年度の状況                                                                                                                                                                     | 今後の指導の重点                                                                                                                                                         |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国土の自然環境などの様子 | ・領域の正答率は、73.7%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○日本の主な地形の名称と位置の理解を基に、地図を読み取る問題の正答率は44.9%で、市平均の正答率を7.8ポイント上回った。<br>●韓国の国旗と位置に関する問題の正答率は67.4%で、市平均の正答率を2ポイント下回った。                           | ・社会科の時間だけでなく、さまざまな機会を捉えて話題にあげ、取り上げた国の位置を地図で確かめさせたり、解説したりすることで、地理に対する関心を高め、自ら調べ、理解しようとする意欲と態度を育成するようにする。                                                          |
| 農業や水産業       | ・領域の正答率は、81.6%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○カントリーエレベーターの目的を答える問題の正答率は88.8%で、市平均の正答率を6.3ポイント上回った。<br>●地産地消について、資料から読み取る問題の正答率は75.3%で、市平均の正答率を7.2ポイント下回った。                             | ・資料を読み取り考察する力を育てるために、引き続き、資料を基に社会的事象について説明したり、自分の言葉でまとめたりする活動を、授業で積極的に取り入れるようにする。<br><br>・地産地消については、引き続き稲作体験や食育指導、家庭科と関連付けて指導していく。                               |
| 工業生産         | ・領域の正答率は、83.1%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○自動車の作業工程の順番をこたえる問題と日本の輸出品の移り変わりを、資料から読み取る問題の正答率は90%以上でよくできていた。特に輸出品の移り変わりを読み取る問題は、市平均の正答率を11.8ポイント上回った。                                  | ・日本の工業生産についての理解をさらに深めるために、機会を捉えて、身近な工業製品や環境保全の取り組みについての話題や資料を提供し、自分の生活と工業を結び付けて考えられるようにする。                                                                       |
| 産業と情報との関わり   | ・領域の正答率は、79.8%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○すべての設問で、市平均の正答率を上回った。特に防潮堤の目的について自分の言葉で答える問題の正答率は92.1%で、市平均の正答率を6.5ポイント上回った。                                                             | ・引き続き、資料を読み取り考察する力を育てるために、資料を基に社会的事象について説明したり、自分の言葉でまとめたりする活動を、授業で積極的に取り入れるようにする。<br><br>・メディアに対する関心を高めるために、ICTを活用した授業を計画的に実施するようにする。                            |
| 日本の政治        | ・領域の正答率は、72.2%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○基本的人権の尊重について、生活の中の具体的事例をもとに判断する問題の正答率は86.5%で、市平均の正答率を1.7ポイント上回った。<br>●税金についての問題の正答率は74.2%で、市平均の正答率を6.6ポイント下回った。                          | ・日本国憲法の基本的な考え方を理解し、日本国憲法と政治や経済が、自分たちのくらしとどのようにつながっているのかについて考えたり調べたりする活動を、授業で積極的に取り入れるようにする。<br><br>・自分たちの生活の場面やニュースなど身近な事象を話題にあげ、自分の生活と憲法が政治や経済と結び付けて考えられるようにする。 |
| 日本の歴史        | ・領域の正答率は、63.9%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○豊臣秀吉の政策に着目して、共通点を判断する問題と江戸幕府の大名支配について、適切な見出しを判断する問題の正答率は、どちらも市平均の正答率を7ポイント以上上回った。<br>●奈良時代と室町時代の文化についての問題の正答率はどちらも50%を下回り、文化の学習に課題がみられる。 | ・各単元や単元間における、時間の経過・事象や人々の相互関係に着目させるだけでなく、その時代の文化についても時代背景などから考えさせ、学習内容や自分の考えをまとめる活動を続けていく。                                                                       |

宇都宮市立豊郷南小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と計算     | 73.1 | 71.8 | 76.2 |
|     | 図形       | 68.9 | 67.7 | 67.8 |
|     | 変化と関係    | 66.7 | 63.4 | 62.7 |
|     | データの活用   | 70.6 | 66.7 | 61.5 |
|     |          |      |      |      |
| 観点別 | 知識・技能    | 71.0 | 68.6 | 70.7 |
|     | 思考・判断・表現 | 69.8 | 68.5 | 66.0 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

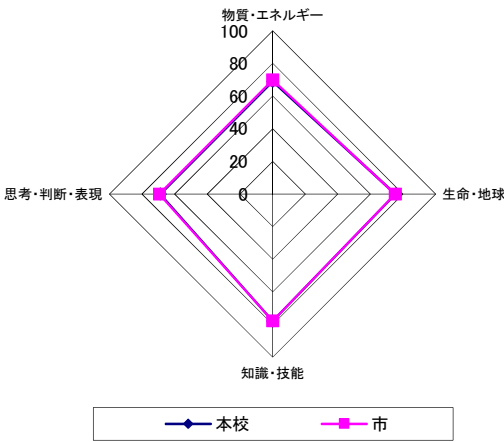
| 領域     | 本年度の状況                                                                                                                                                                                                                             | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算   | <p>・領域の正答率は、73.1%と市の正答率とほぼ同じである。</p> <p>○「分数の計算」における、分数の除法の文章問題にあった図を選ぶ問題において、市平均の正答率を14.8ポイント上回っている。</p> <p>●「分数の計算」における、2つの文字を使って表された式において、一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題では、市平均の正答率を10.3ポイント下回っている。「一方の文字の値から他方の文字の値を求める」ことに課題がみられる。</p> | <p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>今後の指導の重点</p> <p>・分数の計算については、計算の中で約分をする意識が児童に十分備わっている。毎時間授業の中で、計算課程を確認するなどして、答えまでのプロセスを意識して行った結果、計算課程における子供の思考の中に「約分をする」という概念が根付いたと考えられる。</p> <p>・必要な情報を整理し、順を追って考え、答えを導き出せるように、思考プロセスを大切に授業を行うようにする。また、導き出した一方の文字の値から他方の文字の値を求める反復活動を繰り返し行うことに取り組んでいく。</p> |
| 図形     | <p>・領域の正答率は、68.9%と市の正答率とほぼ同じである。</p> <p>○「対照な図形」において、線対称な図形の対称の軸が何本あるかを求める問題では、市平均の正答率を6.6ポイント上回っている。</p> <p>●「対照な図形」において、点対称な図形の対応する辺を求める問題では、市平均の正答率を3.8ポイント下回っている。</p>                                                          | <p>・線対称な図形においては、引き続き図形の特徴を意識させながら、図形に触れる機会を継続して増やしていく。</p> <p>・点対称の図形については、図を描く、対称となる線や点を見つけるといった実践の場を増やし、図形に慣れるような活動を引き続き行っていく。また、図形を描いたり、対称の点を探したりする際は、図にメモを書くといった情報を整理する技能の定着が図れるようにする。</p>                                                                                                |
| 変化と関係  | <p>・領域の正答率は、66.7%と市の正答率とほぼ同じである。</p> <p>○「割合・割合のグラフ」において、基準量と比較量から、割合を求める問題では、市平均の正答率を7.5ポイント上回っており、良好な状況が見られる。</p> <p>●「単位量あたりの大きさ・速さ」において、図から面積と数の割合を求め、どのうさぎ小屋が最も混んでいるかを考察する問題では、市平均の正答率を5ポイント下回っている。</p>                       | <p>・割合については、授業の中で多く問題を解き、加えて、日常生活でも割合に触れる機会を用いて身近に感じさせたことが効果に現れていると考えられる。</p> <p>・「数値から思考すること」に課題を感じられる。また数値が示す意味を理解して求めさせる必要がある。そのため今後の授業では、割合を求める計算問題だけでなく、求めた割合から思考をして回答を出す形式の問題を増やしていく。</p>                                                                                               |
| データの活用 | <p>・領域の正答率は70.6%と市の正答率とほぼ同じである。</p> <p>○「平均・データの見方」において、値に0がある連続量の平均を求める問題では、市平均の正答率を7.2ポイント上回っている。</p>                                                                                                                            | <p>・平均の見方において、今後も日常生活から平均の見方についての経験値を増やしていく。</p>                                                                                                                                                                                                                                              |
|        |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        |                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

宇都宮市立豊郷南小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 物質・エネルギー | 69.0 | 69.9 | 67.8 |
|     | 生命・地球    | 75.3 | 75.1 | 73.7 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |
| 観点別 | 知識・技能    | 77.9 | 77.8 | 78.4 |
|     | 思考・判断・表現 | 68.8 | 69.4 | 66.2 |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域       | 本年度の状況                                                                                                                                                                                      | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                      |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 物質・エネルギー | ・領域の正答率は69.0%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○「ふりがなが1往復する時間とふれはばの関係を調べるための対照実験を計画できる」設問では、市の平均を5.4ポイント上回り、良好な状況が見られる。<br>●「二酸化炭素が増えたことを石灰水を用いて調べることを指摘できる」設問では、市の平均を13.2ポイント下回っており、目的に応じた薬品の選び方に課題が見られる。 | ・ろうそくが燃える前と後で酸素と二酸化炭素の割合の変化を再度比較させたり、石灰水の白濁を見せたりして、その変化を確認させる。また、石灰水は二酸化炭素が多いと白く濁る性質を確認してから調べさせる。<br>・予想・計画を行う場面では、必要な実験手順や条件統制を考える活動を充実させ、適切な実験方法を考える力が養われるような授業を引き続き展開していく。 |
| 生命・地球    | ・領域の正答率は75.3%と市の正答率とほぼ同じである。<br>○「動物の食べ物のもとをたどると、植物に行きつことを理解している」設問では、正答率が94.4%で良好な状況が見られる。<br>●「赤色リトマス紙のようすから、水溶液の液性がわかる」設問では、市の平均と同程度であるが、リトマス紙の色の変化と液性の特徴を正しく理解することに課題が見られる。             | ・酸性・中性・アルカリ性とリトマス紙の色の変化の関係を、順に理解させてから、おもな水溶液について1つ1つ分類していくように支援する。<br>・問題の設定→予想と計画→観察・実験→結果→考察→まとめという学習過程を通して、論理的思考が養われるような授業を引き続き展開していく。                                     |
|          |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                               |
|          |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                               |
|          |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                               |
|          |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                               |

## 宇都宮市立豊郷南小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組                                   | 取組の具体的な内容                                                                                                                                                     | 取組に関わる調査結果                                                                                                                                   |
|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主体的・対話的な学習を通して、読解力・表現力を高める<br>国語科指導に取り組む | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取ったことと関連付けて、自分の意見や考えを書く。</li> <li>・相手の考えと自分の考えを比べながら聞く。</li> <li>・自分の考えを進んで表現し、相手の意見のよさを取り入れながら、考えをまとめる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語「書くこと」領域において市の正答率と比べ、2. 0ポイント低い。</li> <li>・「指定された長さで文章を書いている」設問において市の正答率と比べ、9. 1ポイント低い。</li> </ul> |
|                                          |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                              |

### ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・学校全体で、主に説明文の授業において、めあてを精選したり、板書やワークシートを工夫したりしながら、文章を正しく読み取る力や自分の考えを書く力を育成するための効果的な手立てについて研究していく。また、授業の研究とともに、朝の学習の時間を使った読解力を高める学習や読書の推進などの日常的にできる読む力の育成にも取り組んでいく。
- ・各教科の実践の中で、自分の考えを書いたり、説明したり、友達と伝え合ったりする活動を意図的に設け、国語で培った力を生かせるようにする。